

除草剤と公害問題

昨年の暮、私の事務所へ初対面の林業関係の人が訪ねて来た。話をきいてみると、林業では造林地の地ごしらえや植林地の下草刈りの代わりに除草剤を利用したいが反対が多くてこまっている。自然の生態を破壊し、河川を汚染するということで林業に関係のない人々が除草剤散布を妨害するのでこまる。農業では昔から除草剤を使っているが反対がないかどうか、あるとすればどのように説得しているのか教えてほしい……ということであった。林業界では、米国がベトナムで行なった枯葉作戦の悲惨なイメージが強く残っていて、心理的に反対の気風の強いことはわかっているが、一面反対のための反対という感がないわけではない。こと公害問題になると、科学的根拠は度外視して反対する傾向を否定出来ない。農業では除草剤の使用は常識となっており、特に反対も起こらない。しかし農業の場合でも安易に除草剤を使用することは禁物で、もし大規模な水質汚濁や人畜に対する災害が起きると、林業と同じように公害問題が与論となって起きてくる可能性がある。現在では少なくなったが、除草剤のなかには劇・毒物の指定のあるものがある。これら薬剤の販売業者はもちろん、使用する農家もその保管、管理についてはきびしい規定が設けられている筈である。しかし末端の農村に入ってみると、必ずしもこの規定が守られているとはいえず、納屋のすみに無造作に積み重ねている例が多い。このような不注意が重なって、大きな事故にむすびつかないよう、日頃の注意が必要であろう。

〔 財団法人 日本植物調節剤研究協会理事 茅野三男
北海道支部長 〕

目 次 (第18巻第12号)

新しい植物生長調節物質 ブラシノ ライド類の生理作用と農業および生物 生産への利用……………	2
＜宇都宮大学農学部 竹松哲夫・竹 内安智・古口正巳＞	
は じ め に……………	2
1. 生 理 作 用……………	5
2. ダイコンにおける諸反応……………	6
(1) 種子浸漬処理による促進作用……………	6
(2) 溶液中に播種したときの促進……………	6
(3) 幼植物の根部処理による伸 長促進効果……………	7
(4) 幼植物への茎葉処理による 反応……………	7
(5) 根源体形成試験における反応……………	7
(6) ダイコン幼植物の葉柄・下 胚軸伸長に対するブラシノ ライド類と他の生理活性物 質の相互作用……………	8
3. 各種植物に対する生育促進作用……………	8
4. 各種植物に対する増収効果……………	9
5. 除草剤の害害軽減効果……………	10
6. 各種病菌に対する耐性……………	10
7. 組織培養における利用……………	10
昭和59年度水稻作関係除草剤試験成 績概要……………	15
＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞	
第1表 適1試験判定結果一覧表……………	16
第2表 適2試験判定結果一覧表……………	17
第3表 適2使用基準一覧表……………	18